

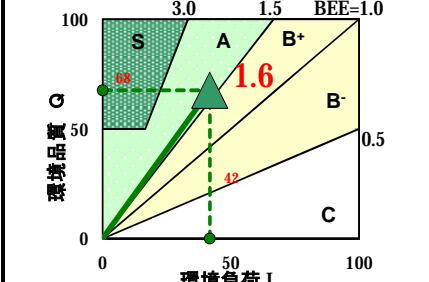
1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	大阪府和泉警察署新築工事	階数	地上5F
建設地	大阪府和泉市伯太町	構造	SRC造
用途地域	第1種住居地域、防火地域 指定なし	平均居住人員	189 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	事務所	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2026年1月 予定	評価の実施日	2023年1月6日
敷地面積	4,666 m <sup>2</sup>	作成者	松田平田設計 横山泰
建築面積	1,372 m <sup>2</sup>	確認日	2023年1月6日
延床面積	5,863 m <sup>2</sup>	確認者	松田平田設計 横山泰



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 1.6**

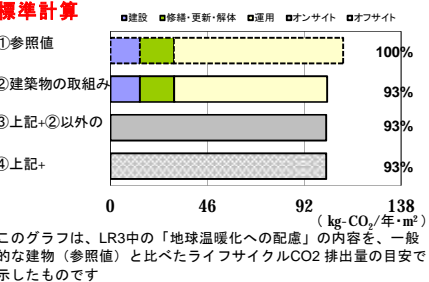
S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★



### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

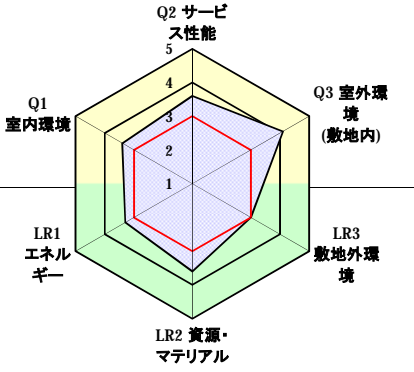
標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+



このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

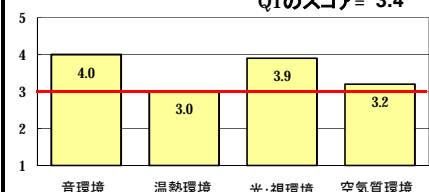


### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q 環境品質** Qのスコア = 3.7

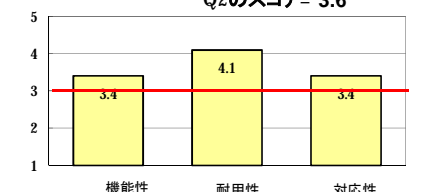
#### Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.4




#### Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.6



#### Q3 室外環境(敷地内)

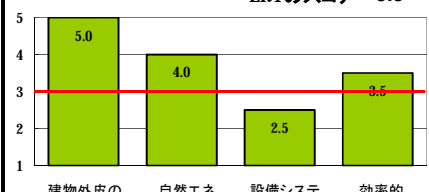
Q3のスコア = 4.1



**LR 環境負荷低減性** LRのスコア = 3.3

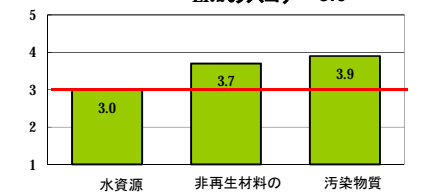
#### LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.3



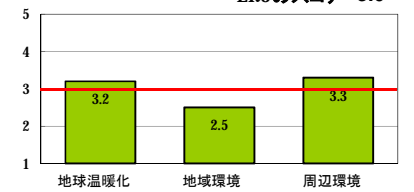
#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.6



#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.0



3 設計上の配慮事項		
総合		その他
木材の活用、遮熱性の高い外皮の採用、中庭への自然通風の確保など、総合的に環境に配慮した計画を行い、地域に貢献できる施設を目指す。		
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境(敷地内)
事務室は十分な換気を確保するとともに南北に面して広く配置しライトシェルフによる自然採光を確保し、明るく居住性に配慮した執務空間となるよう計画。	共用部は、メンテナンス性の高い内装仕上げを採用。非常用発電機、受水槽、緊急排水槽を設けるなど、災害時事業継続性にも配慮した計画。	新設緑地帯や屋上緑化など建物周辺に緑豊かな環境を作る。建物を道路からセットバックさせ、圧迫感を低減させるなど、外部からの見え方にも配慮した配置計画。
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
Low-e複層ガラスや庇による日射遮蔽、十分な断熱計画など外皮の熱負荷低減、高効率な設備機器の採用により高い省エネ性能を確保。	おおさか産木材の利用などのリサイクル材を積極的に活用し、建設時や将来の解体後のリサイクルも想定したサステナブルな建築計画。	シミュレーションを行い、卓越風の周辺建物への影響を確認。

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■ 「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■ 評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2, LR1, LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

# 大阪府建築物環境配慮評価システム2018年版 大阪府の重点評価(結果)

受付番号

R4-0165

Osakafu-新築・既存 2018V1.0

【建物概要】	建物名称	大阪府和泉警察署新築工事					
	建設地	大阪府和泉市伯太町					
	用途/区分	事務所					
【評価結果】	CASBEE 総合評価					A	
①	CO2削減					3	
②	みどり・ヒート アイランド対策					3	
③	建物の断熱性					5	
④	エネルギー削減					3	
⑤	自然エネルギー直接利用					○	
	再生可能エネルギー 利用施設の導入状況	太陽光発電	○	風力	—	地熱	—
		太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—

## エネルギー消費量の報告

【評価項目】			
項目	評価内容	スコア	評価
① CO2削減	CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価	3.2	3
② みどり・ヒートアイランド対策			
生物環境の保全と創出	CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価	3.0	3
敷地内温熱環境の向上	CASBEE「Q3-3. 2」のスコアによる評価	3.0	
温熱環境悪化の改善	CASBEE「LR3-2. 2」のスコアによる評価	2.0	
③ 建物外皮の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価	5.0	5
④ 設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価	2.5	3
⑤ 自然エネルギー利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価	4.0	○
エネルギー消費の実態把握に努める	エネルギー消費量の実績を3年間報告する。	報告する 報告しない	報告しない

## その他

	技術の名称	考慮事項
先進的技術の導入	太陽光発電	発電容量: 5.3KW
特に配慮した事項		